

令和3年度 決算報告書

国立大学法人北見工業大学

(単位 百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,261	2,366	105	(注1)
施設整備費補助金	112	95	△17	(注2)
補助金等収入	147	349	202	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	20	20	—	
自己収入	1,271	1,181	△90	
授業料、入学料及び検定料収入	1,194	1,083	△111	(注4)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	77	98	21	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	192	325	133	(注6)
引当金取崩	—	—	—	
目的積立金取崩	298	299	1	(注7)
計	4,301	4,635	334	
支出				
業務費	3,830	3,686	△144	
教育研究経費	3,830	3,686	△144	(注8)
施設整備費	132	115	△17	(注9)
補助金等	147	262	115	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	192	302	110	(注11)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	4,301	4,365	64	
収入-支出	—	270	270	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因経費及び授業料免除等経費が交付されたこと等により、予算額に比して決算額が105百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった工事計画の変更により、予算額に比して決算額が17百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の獲得により、予算額に比して決算額が202百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、予算段階で予定していた授業料収入が授業料等減免費交付金として補助金等収入に含まれたこと等により、予算額に比して決算額が111百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、科研費間接経費等の増加により、予算額に比して決算額が21百万円多額となって

います。

- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった受託研究等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が133百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していた事業の見直しにより、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、経費の節減に努めたこと及び新型コロナウイルスの影響により出張等の経費が減少したことにより、予算額に比して決算額が144百万円少額となっています。
- (注9) 施設整備費については、(注2)(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が17百万円少額となっています。
- (注10) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が115百万円多額となっています。  
また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が87百万円含まれており、本補助金は授業料免除に使用しているため、補助金等収入決算額と一致していません。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が110百万円多額となっています。